一日葬と家族葬の違い(比較表)

比較項目 一日葬(いちにちそう)

葬儀の日程 1日で実施(通夜を行わない)

流れ ご安置 → 葬儀・告別式 → 火葬

参列者の

家族・親しい友人中心(10~30名程度)

範囲

目的・特徴 通夜を省き、負担を軽くする形式

時間の負担 少ない(1日完結)

費用の目安 約 30 万~80 万円前後

会場の利用 式場を1日だけ利用

メリット

・短期間で実施できる

・費用と体力の負担が少ない

・弔問の機会が少ない

デメリット ・知らせを受けられなかった人が参列

できない場合も

近年の傾向 都市部で急増。高齢者世帯・共働き家庭に

(東京・埼玉) 選ばれやすい

よくある 家族中心の一日葬 (= 「家族一日葬」) が

組み合わせ 主流

家族葬(かぞくそう)

通常2日間(通夜+葬儀・告別式)

ご安置 → 通夜 → 葬儀・告別式 → 火葬

家族・親族中心(5~20名程度)

少人数でゆっくりとお別れする形式

通夜・葬儀で2日間必要

約 40 万~120 万円前後(人数により変動)

式場を2日間利用

・親族中心で落ち着いた葬儀が可能

・丁寧にお別れできる

・準備期間と宿泊が必要な場合がある

・費用がやや高めになることも

定番化しており、葬儀全体の7~8割が家族葬形式

通夜・葬儀を家族だけで行う二日間の家族葬

♀ まとめ

一日葬:日数を短縮した形式(時間の簡略化)

家族葬:参列者を限定した形式(範囲の簡略化)

→ どちらも「小規模で心のこもったお見送り」を目的としています。

記録メモ用欄